

きれいな
水

飲んで
いますか。

無溶剤形エポキシ樹脂塗料

チヨスイコート



神 東 塗 料

きれいな水飲んでいますか？

ビル、マンションの飲料水貯水槽は、塗装して短時間で注水する必要があります。
「チョスイコート」は短時間での注水が可能で、飲料水の安全性、貯水槽の防食・保護を目的とする内面専用無溶剤形エポキシ樹脂塗料です。
飲料水タンク以外にも工程の制約を受ける水タンク内面の塗替え塗装にも最適です。

塗膜品質

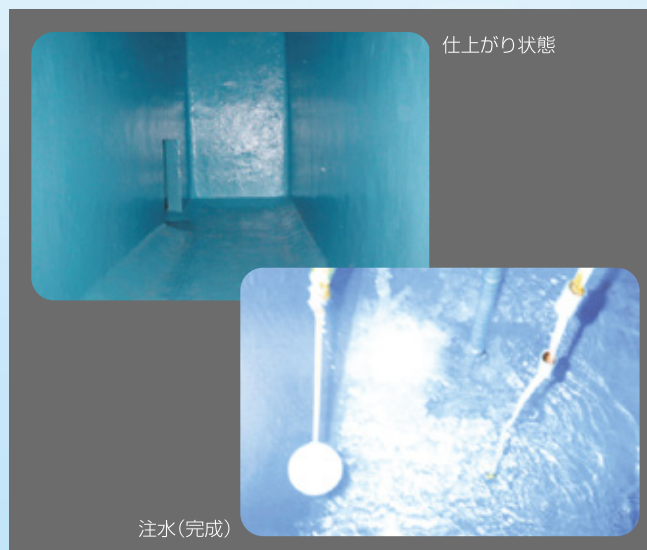
水道用無溶剤形エポキシ塗料塗装方法（JWWA K 157:2013）に準じた表層用材料の浸出性試験による試験項目基準に適合します。

特長

- 1 安全な水質を保ちます。
- 2 塗装後短時間で注水が可能です。
- 3 無溶剤形塗料のため
溶剤中毒の恐れがなく、安全です。
- 4 1回塗りで200～250 μ mの
厚膜塗装が可能のため、優れた保護効果を
発揮します。
- 5 はけ・ローラーで手早く、
簡単に施工できます。
ガラスクロスライニングに適用可能です。

用途

鋼製水槽、コンクリート製水槽、FRP製水槽などの内面構造部。



商品構成

品 名	荷 姿 ・ 色 相			用 途
	セット	基 剤	硬化剤	
チョスイコート	3kg ライトブルー（日塗工69-60L近似） グレー（日塗工29-70B近似）	2kg クリーム	1kg 青 グレー	標準品 200～250 μ m／回 はけ・ローラー用
チョスイコート#100	6kg ライトブルー（日塗工69-60L近似）	4kg クリーム	2kg 青	厚膜品 500～600 μ m／回 ヘラ・コテ用

塗装仕様例

①鋼製水槽内面

工程		塗料名	標準膜厚 (μ m/回)	塗装方法	塗回数	標準使用量 (g/㎡/回)	塗装間隔 (20℃)
1	素地調整	ISO St 3 (劣化塗膜およびさび発生部は動力工具で除去し、金属面を露出させる。 活膜部は目粗し処理を行い、塗装面を清浄にする。)					4時間以内
2	補修塗装	チョスイコート	(200)	はけ	(1)	(500)	直ちに 次工程へ
3	上塗り-1	チョスイコート	200	はけ ローラー	1~2	500	－

*腐食が著しい場合は、上塗りを2回塗りすることをおすすめします。

*水槽内の液温が上昇する条件で使用される場合は、ISO Sa 2 1/2 以上の素地調整が必要となります。

②コンクリート水槽内面

工程		塗料名	標準膜厚 (μm /回)	塗装方法	塗回数	標準使用量 (g/m^2 /回)	塗装間隔 (20°C)
1	素地調整	ディスクサンダー等によりレイタンス、エフロレッセンス、劣化塗膜等、脆弱層を除去、清掃する。 活膜部は目粗し処理を行い、塗装面を清浄にする。素地表面がアルカリ度 pH10 以下、含水率 10%以下を確認する。					
2	不陸調整	下地に著しい凹凸がある場合は、市販のポリマーセメントモルタル、樹脂モルタル等で下地を平滑にする。					
3	上塗り-1	チョスイコート	250	はけ ローラー	1	630	1日～7日
4	上塗り-2	チョスイコート	250	はけ ローラー	1	630	－

*JWWA K 143の規定により、500 μm 以上を確保するため、上塗りは2回塗りとしてください。

*不陸調整が必要ない場合は、工程2は不要です。

*不陸調整に用いるポリマーセメントモルタル、樹脂モルタル等は製造業者の仕様によって施工してください。

③FRP水槽内面

工程		塗料名	標準膜厚 (μm /回)	塗装方法	塗回数	標準使用量 (g/m^2 /回)	塗装間隔 (20°C)
1	素地調整	サンドペーパー (#100 程度)、スクレーパー等を併用し、劣化塗膜および表面に付着しているかび、藻などを除去し清掃する。活膜部は目粗し処理を行い、塗装面を清浄にする。					4時間以内
2	上塗り	チョスイコート	200	はけ ローラー	1~2	500	—

*防かび、防藻対策が必要な場合は、外面をサンカットマイルドシステムで施工します。

④鋼製水槽内面 (厚膜)

工程		塗料名	標準膜厚 (μm /回)	塗装方法	塗回数	標準使用量 (g/m^2 /回)	塗装間隔 (20°C)
1	素地調整	ISO St 3 (劣化塗膜およびさび発生部は動力工具で除去し、金属面を露出させる。 活膜部は目粗し処理を行い、塗装面を清浄にする。)					4時間以内
2	補修塗装	チョスイコート #100	(500)	ヘラ コテ	(1)	(1000)	直ちに 次工程へ
3	上塗り-1	チョスイコート #100	500	ヘラ コテ	1	1000	－

*水槽内の液温が上昇する条件で使用される場合は、ISO Sa 2 1/2 以上の素地調整が必要となります。

データガイド

品 名		チョスイコート					チョスイコート #100					
概 要	塗 料 の タ イ プ	無溶剤形エポキシ樹脂塗料										
	色 相	ライトブルー、グレー					ライトブルー					
	容 量	セット	基剤		硬化剤		セット	基剤		硬化剤		
		3kg	2kg		1kg		6kg	4kg		2kg		
混 合 比 (基 剤 : 硬 化 剤)		2 : 1 (重量比)										
適 正 塗 装 方 法		はけ・ローラー					ヘラ・コテ					
塗 装 仕 様		標準膜厚200μm 標準使用量500g/㎡					標準膜厚500μm 標準使用量1000g/㎡					
塗 装 環 境 条 件		温度5～40℃ 湿度85%RH以下										
洗 浄 用 シ ン ナ ー		二液形ネオゴーセーシンナー(塗装器具の洗浄用)										
塗 装 案 内			5℃	10℃	20℃	30℃	40℃	5℃	10℃	20℃	30℃	40℃
	可 使 時 間	90分	50分	30分	20分	15分	60分	40分	30分	20分	15分	
	乾燥時間	半 硬 化 乾 燥	2時間	90分	45分	30分	20分	2時間	90分	45分	30分	20分
		歩 行 可 能	24時間	12時間	6時間	4時間	3時間	24時間	12時間	6時間	4時間	3時間
		ハ ン ド リ ン グ 可 能	48時間	24時間	12時間	8時間	6時間	48時間	24時間	12時間	8時間	5時間
		完 全 硬 化	72時間	48時間	24時間	12時間	6時間	72時間	48時間	24時間	12時間	6時間
	塗装間隔	最 小	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	1日
最 大		7日	7日	7日	7日	7日	7日	7日	7日	7日	7日	
		*塗装間隔において、別途、基準が定められている場合は基準を遵守してください。										

■取り扱いに関する一般的注意事項

■調 合

1. 塗料取り扱いは、屋外または換気の良い場所で行ってください。
2. 火気厳禁です。
3. 指定品以外の他品種、他品名の塗料との混合は絶対に行わないようにしてください。
4. 混合前の基剤/硬化剤は、夏場は直射日光や温度の高い場所に置くのを避け、日陰で風通しのよい場所に置いてください。
5. 塗料の液温が30℃を超えると可使時間が極端に短くなるため、缶を水で冷やすなどして液温を15～20℃程度にしてから調合してください。
6. 冬場は塗料粘度が高くなり、混合が難しくなる場合があります。冬場は缶をお湯で温めるなどして、液温を15～25℃程度にしてから調合してください。
7. 塗料が皮膚に接触することで感作性を引き起こすことがあります。
8. 塗料の取り扱い時は、必要な保護具(帽子、ヘルメット、保護めがね、マスク、手袋など)を使用して、塗料が身体に付着しないよう注意してください。
9. 塗料開缶は原則として使用する直前にを行い、開缶したものは、その日のうちに使用してください。
10. 混合前の基剤/硬化剤は、攪拌棒(金ヘラ等)を用いて缶の内容物を攪拌し均一な状態にしてください。攪拌の際には、なるべく空気巻き込みがないようにかき混ぜてください。
11. 基剤/硬化剤を混合するときは、空気巻き込みをなるべく避けるように攪拌し、十分に混合し、なるべく脱泡してから使用してください。
12. チョスイコートは無溶剤形塗料です。シンナー添加は厳禁です。

■塗 装

1. 気温および被塗面温度が5℃以下、湿度85% RH以上の場合は塗装を避けてください。乾燥遅延、付着不良、外観不良など不具合を生じるおそれがあります。
2. 被塗物の表面温度が50℃以上の場合は塗装を避けてください。外観不良、塗膜性能低下などの不具合を生じるおそれがあります。
3. 被塗面に結露や水分が残っている場合は、送排気ファン、温風ファンなどを使用し乾燥させてください。
4. コンクリート、モルタル面への塗装は、表面含水率は10%以下(ケット科学研究所製CH-2)または5%以下(ケット科学研究所製 Hi500シリーズ)で、素地状態がpH10以下を確認してから塗装してください。
5. 被塗面は清浄な状態にしてから塗装してください。
6. 塗装時は、必要な保護具(帽子、ヘルメット、保護めがね、マスク、手袋など)を使用し、塗料が身体に付着しないよう注意してください。
7. 吸入に関する危険物有害性の表示がある塗料を塗装する場合は、局所排気

- 装置などを設置し、十分に換気を行い、作業時には有機ガス用の防毒マスクやエアラインマスクなどを着用して作業を行ってください。
8. 塗装中および塗膜乾燥中は、換気を十分にを行い、槽内空気の流通を確保してください。
 9. 基剤/硬化剤調合後は、直ちに塗装し可使時間内に使用してください。
 10. 仕様に書かれている数値は標準的なものであり、被塗面の状態、施工条件、気象条件などにより幅を生じる場合があります。必要膜厚を確保して塗装してください。
 11. 塗料取り扱い後、塗装作業後は手洗いおよびうがいを行ってください。
 12. 塗装器具の洗浄には二液形ネオゴーセーシンナーまたはラッカーシンナーをご使用ください。
 13. 塗装後注水する際は、事前に十分な乾燥時間を取り、必ず塗膜の乾燥状態を確認した上で、水洗いし注水してください。

■緊急時の対応

1. 目に入ったときには、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
2. 皮膚に付着したときには、多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、出来るだけ早く医師の診察を受けてください。
3. 蒸気、ガス等を吸入した場合には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
4. 誤って 飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
5. 容器からこぼれた場合や飛散した場合は、砂、布(ウエス)などで拭き取ってください。
6. 万が一、火災が発生した場合は 炭酸ガス、泡、粉末消火器 を用いてください。

■廃 棄

1. 使用済ウエス、塗料カス、ダスト等は、発熱、自然発火の危険があります。可燃物との接触を避け、速やかに水に濡らす等の予防対策を行ってください。
2. 使用済みの塗料缶や塗料が付着したウエスや残塗料を廃棄する場合は、関連法規に従って産業廃棄物として廃棄してください。(河川や土壌等、環境汚染になる場所へ廃棄しないでください。)

■保 管

1. 残塗料は密封して冷暗所に保管してください。
2. 子供の手の届かない場所に保管してください。
3. 塗料の保管は関連法規を遵守してください。
4. 容器はつり上げないでください。

※安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)を参照してください。
※必ず各塗料の個別カタログに記載している注意事項をご確認ください。
※ご不明な点に関しましては、弊社お問い合わせ先までご連絡願います。



本 社 〒661-8511兵庫県尼崎市南塚口町六丁目10番73号
☎(06)6426-3355(代) FAX(06)6429-6188(代)

製品に関するお問い合わせ

- | | | |
|-------------------------------------|-------------------------------------|---|
| 北海道 ☎(0123)32-0431 FAX(0123)34-6199 | 北 陸 ☎(076)262-1305 FAX(076)262-1315 | 四 国 ☎(0897)65-4550 FAX(0897)65-4576 |
| 東 北 ☎(022)353-6951 FAX(022)353-6952 | 名古屋 ☎(052)612-0293 FAX(052)612-0318 | 九 州 ☎(092)472-2222 FAX(092)473-5777 |
| 東 京 ☎(03)5690-0544 FAX(03)5690-0553 | 大 阪 ☎(06)6426-3763 FAX(06)6429-6268 | |
| 静 岡 ☎(054)245-0135 FAX(054)247-4091 | 中 国 ☎(082)264-6822 FAX(082)264-6821 | https://www.shintopaint.co.jp/ |

本カタログの内容・仕様等について予告なく変更することがあります。ご了承ください。